

T & Dアセットマネジメント 「お客さま本位の業務運営に係る取り組み方針」

T & Dアセットマネジメントは、お客さまの利益に繋がる真摯・誠実かつ公正・適切な企業活動を行うために、「お客さま本位の業務運営に係る取り組み方針」を定めます。
また、当社は、本方針の趣旨・精神を尊重する企業文化の醸成に取り組みます。

[方針1] より良い商品・サービスの提供

私たちは、お客さまの多様なニーズにあった質の高い商品・サービスをご提供します。
また、「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》に基づく方針を公表し、同方針に基づいた積極的なスチュワードシップ活動により、投資先企業の持続的成長を促します。

具体的な取り組み内容

1. お客さまのニーズにあった商品の提供

当社は、お客さまの多様なニーズにあった商品開発を進めるため、様々な運用手法・運用資産に関する調査・研究に取り組んでいます。また、“Make a Difference（違いを創造する）”を行動指針とすることにより、常に独自性を追求し、他社との差別化に努めています。

平成28年度においても、独自性の高い商品として、「リビング・アース戦略ファンド」、「ロボット戦略 世界分散ファンド」の2本の公募投資信託を新たに設定しました。

2. 国連責任投資原則への署名

当社は、国連責任投資原則（PRI：Principles for Responsible Investment）の趣旨に賛同し、平成24年3月に当原則の署名機関となりました。また、お客さまの大切な資金を運用する機関投資家として、お客さまの長期的な利益に適うようにESG（E：環境、S：社会、G：企業統治）の課題への取り組みを推進しています。

具体的には、ESG調査の専門人材を配置して国内企業のESG調査を進めています。また、ESG情報について、国内株式や国内事業債の運用担当者に投資判断の材料として提供しています。

3. 「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》の受入れ表明

当社は、「責任ある機関投資家」の諸原則《日本版スチュワードシップ・コード》の趣旨に賛同し、平成26年5月に当該原則を受け入れることを表明しました。また、お客さまの大切な資金を運用する機関投資家として、当該原則に沿った方針に基づき、投資先企業の持続的成長に資するよう責任ある行動を推進するとともに、スチュワードシップ活動の状況を定期的に公表しています。

【方針2】お客さま本位の情報提供

私たちは、お客さまが金融商品をご選択されるにあたって、必要となる重要な情報について、お客さまに正しくご理解いただけるよう、よりわかりやすい情報提供に努めます。
また、お客さまにご負担いただく手数料その他費用について明確にします。

具体的な取り組み内容

1. 手数料その他費用の明確化

当社は、お客さまにご負担いただく手数料その他費用について、目論見書等において公表しています。
また、商品開発にあたっては、コスト・収支分析等を実施することにより、運用報酬等が適正水準にあることを検証しています。

2. わかりやすい情報提供

当社は、お客さまに商品の仕組みや運用成果等をご理解いただくため、わかりやすい目論見書、運用報告書等の作成に努めています。また、よりわかりやすい情報提供の新たな試みとして、平成28年9月に設定した「ロボット戦略 世界分散ファンド」の商品説明動画を作成し、ホームページで公表しました。

【方針3】業務運営の質の向上

私たちは、お客さまとの末永い信頼関係を築いていくため、お客さまサービス態勢や事務・システムの整備を含む業務運営の質の向上に取り組めます。

具体的な取り組み内容

1. お客さま本位の業務運営のための体制整備

当社は、お客さま本位の業務運営を徹底するため、「お客さま本位の業務運営に係る基本取り組み方針」を社則として制定しました。また、当方針の主旨に沿ったより良い業務運営を実現していくため、社内規程や業務マニュアル等についても検証を行ない、必要な見直しを適宜実施してまいります。

[方針4] 利益相反取引の適切な管理

私たちは、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反のおそれのある取引を適切に管理するための方針を策定、公表するとともに、利益相反のおそれのある取引を適切に把握・管理してまいります。

具体的な取り組み内容

1. 「利益相反管理方針」

お客さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反のおそれのある取引を適切に管理するための方針を策定、公表しました。

[方針5] 「お客さま本位」の行動を実践する人材の育成等

私たちは、役職員に常に「お客さま本位」の姿勢を徹底することを指導するとともに、お客さまとの末永い信頼関係を構築していくため、高い倫理観を持ち、専門的な知識を兼ね備えた人材を育成します。

また、本方針に基づく行動を促進する態勢の構築に取り組みます。

具体的な取り組み内容

1. 経営理念の浸透

当社は、「信頼される運用会社」、「顧客本位」、そして「安定性と柔軟性を両立させた品質の向上」を経営理念の3本柱として、お客さまとの長期的な信頼関係を築き共に歩む運用会社を目指してまいりました。

また、この経営理念の浸透を図ることにより、役職員によるお客さま本位の姿勢の徹底に努めています。

2. 「お客さま本位の業務運営に係る取り組み方針」の社内周知

当社は、「お客さま本位」の行動を実践する人材の育成を行うため、「お客さま本位の業務運営に係る取り組み方針」の社内周知・徹底に努めています。平成29年4月に実施した経営計画説明会において、「お客さま本位の業務運営に係る取り組み方針」を策定することを社内に宣言するとともに、役職員の一人ひとりが、お客さま本位の業務運営に取り組むことの意義や重要性について説明しました。

[方針6] 推進態勢

私たちは、お客さま本位の企業活動を推進するため、本方針に基づく取り組み状況を取締役会等に定期的に報告するとともに、その内容を公表します。また、本方針についても見直しの必要がないか定期的に確認を行います。